

令和3年第4回嬉野市議会定例会会議録

招集年月日	令和3年12月1日					
招集場所	嬉野市議会議場					
開閉会日時 及び宣告	開会	令和3年12月1日 午前10時00分			議長 田中政司	
	散会	令和3年12月1日 午前10時43分			議長 田中政司	
応（不応）招 議員及び出席 並びに欠席議員	議席 番号	氏 名	出欠	議席 番号	氏 名	出欠
	1番	山口 卓也	出	9番	森田 明彦	出
	2番	諸上 栄大	出	10番	辻 浩一	出
	3番	諸井 義人	出	11番	山口 忠孝	出
	4番	山口 虎太郎	出	12番	山下 芳郎	出
	5番	宮崎 一徳	欠	13番	山口 政人	出
	6番	宮崎 良平	出	14番	芦塚 典子	出
	7番	川内 聖二	出	15番	梶原 睦也	出
	8番	増田 朝子	出	16番	田中 政司	出

地方自治法 第121条の規定 により説明の ため議会に出席 した者の職氏名	市長	村上大祐	健康づくり課長	
	副市長	池田英信	統括保健師	
	教育長	杉崎士郎	子育て未来課長	
	行政経営部長	永江松吾	福祉課長	
	総合戦略推進部長	三根竹久	農業政策課長兼 農業委員会事務局長	
	市民福祉部長	筒井八重美	茶業振興課長	
	産業振興部長	中村はるみ	観光商工課長	
	建設部長	井上元昭	農林整備課長	
	教育部長	大久保敏郎	建設課長	
	観光戦略統括監	近藤光則	新幹線・まちづくり課長	
	総務・防災課長兼 選挙管理委員会事務局長	太田長寿	環境下水道課長	
	財政課長	山口貴行	教育総務課長	
	税務課長		学校教育課長	
	企画政策課長		会計管理者兼 会計課長	
	広報・広聴課長		監査委員事務局長	
	文化・スポーツ振興課長		代表監査委員	
	市民課長			
本会議に職務 のため出席した 者の職氏名	議会事務局長	白石伸之		

## 令和3年第4回嬉野市議会定例会議事日程

令和3年12月1日（水）

本会議第1日目

午前10時 開 議

- |       |   |
|-------|---|
| 日程第1  | 会議録署名議員の指名  |
| 日程第2  | 会期の決定   |
| 日程第3  | 諸般の報告   |
|       | 報告第14号 議決事件に該当しない契約の報告について                                  |
| 日程第4  | 議案第85号 嬉野市下水道事業の設置等に関する条例について                               |
| 日程第5  | 議案第86号 嬉野市下水道事業職員の給与の種類及び基準に関する条例について                       |
| 日程第6  | 議案第87号 嬉野市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について                   |
| 日程第7  | 議案第88号 嬉野市特別会計条例の一部を改正する条例について                              |
| 日程第8  | 議案第89号 嬉野市国民健康保険条例の一部を改正する条例について                            |
| 日程第9  | 議案第90号 嬉野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について |
| 日程第10 | 議案第91号 嬉野市分担金徴収条例の一部を改正する条例について                             |
| 日程第11 | 議案第92号 指定管理者の指定について   |
| 日程第12 | 議案第93号 佐賀縣市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合理約の変更について            |
| 日程第13 | 議案第94号 令和3年度嬉野市一般会計補正予算（第10号）                               |
| 日程第14 | 議案第95号 令和3年度嬉野市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）                          |
| 日程第15 | 議案第96号 令和3年度嬉野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）                         |
| 日程第16 | 議案第97号 令和3年度嬉野市農業集落排水特別会計補正予算（第2号）                          |
| 日程第17 | 議案第98号 令和3年度嬉野都市計画下水道事業嬉野市公共下水道事業費特別会計補正予算（第1号）             |
| 日程第18 | 議案第99号 令和3年度嬉野市浄化槽特別会計補正予算（第1号）                             |
| 日程第19 | 議案第100号 令和3年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野第七土地区画整理事業費特別会計補正予算（第1号）          |
| 日程第20 | 議案第101号 令和3年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野第八土地区画整理事業費特別会計補正予算（第1号）          |
| 日程第21 | 議案第102号 令和3年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業費特別会計補正予算（第2号）       |

日程第22	委員長報告	
	文教福祉常任委員会	児童福祉について
	議会ICT化に関する特別委員会	議会ICT化に関する調査研究
	嬉野市庁舎検討特別委員会	嬉野市庁舎のあり方に関する調査研究

---

**午前10時 開会**

**○議長（田中政司君）**

皆さんおはようございます。本日は令和3年第4回嬉野市議会定例会に御出席をいただきまして御苦労さまでございます。

本日は議席番号5番宮崎一徳議員が欠席であります。定足数に達しておりますので、ただいまから令和3年第4回嬉野市議会定例会を開会いたします。

本定例会の議会運営につきましては、11月29日に議会運営委員会が開催をされました。その結果について報告を求めます。辻浩一議会運営委員長。

**○議会運営委員長（辻 浩一君）**

皆さんおはようございます。先日11月29日に議会運営委員会を開催いたしまして、今定例会の議会運営に関し協議を行いました。

ただいまから今会期日程案について報告いたします。

お手元に配付の令和3年第4回嬉野市議会定例会会期日程案を御覧ください。

会期は、本日12月1日から17日までの17日間であります。

12月1日、開会、会議録署名議員の指名、会期の決定、諸般の報告、議案一括上程、提案理由の説明、委員会報告、本会議終了後に議案の詳細説明を受ける合同常任委員会。

12月2日、3日、常任委員会。

12月9日、10日、議案質疑。

12月13日から15日まで一般質問。

今定例会には13名の議員から通告がっておりますので、13日3名、14日5名、15日5名の配分で、開議時刻を9時30分として行いたいと思います。

12月17日、討論・採決、閉会。

以上、今定例会の会期日程案について御報告いたします。

**○議長（田中政司君）**

議会運営につきましては、ただいま議会運営委員長から報告のあったとおりであります。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑なしと認めます。これで議会運営についての報告を終わります。

それでは、直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程につきましては、お手元に配付のとおりであります。

日程第1．本定例会の会議録署名議員の指名を行います。

嬉野市議会会議規則第85条の規定により、会議録署名議員に議席番号11番山口忠孝議員、議席番号12番山下芳郎議員、議席番号13番山口政人議員を指名いたします。

日程第2．嬉野市議会会議規則第4条の規定により会期の決定を議題といたします。

お諮りします。本定例会の会期は、本日から12月17日までの17日間にしたいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。本定例会の会期は、本日から12月17日までの17日間に決定をいたしました。

なお、会期中の会議予定につきましては、お手元に配付しております会期日程のとおりであります。御了承ください。

日程第3．諸般の報告を行います。

本日まで提出されました令和3年陳情第7号から第10号につきましては、お手元に配付しております陳情文書表のとおりであります。

次に、報告第14号 議決事件に該当しない契約の報告についてにつきましては、お手元に配付をしておりますので、それをもって報告といたします。

これで諸般の報告を終わります。

日程第4．議案第85号 嬉野市下水道事業の設置等に関する条例についてから日程第21．議案第102号 令和3年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業費特別会計補正予算（第2号）までの18件の議案を一括して議題といたします。

朗読を省略いたしまして、提案理由の説明を求めます。市長。

#### ○市長（村上大祐君）

皆さんおはようございます。令和3年第4回嬉野市議会定例会の開会に当たり、議員の皆様の日頃の御活躍に敬意を表しますとともに、本市行政に対する御理解、御協力に対し、厚く御礼を申し上げます。

今議会は、私自身も、また、議員の皆様にとっても任期中最後の定例会になります。振り返れば4年前、佐賀県政史上で最年少の35歳9か月で市長に就任させていただいて以来、全力で駆け抜けてまいりました。皆様の御理解、御協力をいただきながら、ここまでたどり着いたということもありますが、まだまだこうして課題は山積でございます。私自身もしっかりと残された任期の中でも市勢発展のために全力を尽くしてまいりたいと思っております。

特に後半の2年はコロナ禍や大規模な自然災害に直面し、人々の命と、そして、健康を守ること、暮らしとなりわいの再建支援を最優先事項として取り組んでまいりました。市政運営が市民生活に与える影響の大きさを痛感するとともに、引き続き誠心誠意での対応を心がける所存でございます。

本年8月の豪雨災害の被災現場では、国、県などに迅速な支援要請を行うのと同時に、帰宅困難な方は、嬉野温泉旅館組合との協定に基づき宿泊施設への避難も実現をいたしました。このほか、これまでの補正予算等で市独自の補助事業を展開してスピード復旧を実現した箇所も数多くある一方、どうしても個人宅にかかる部分など、公的支援では対応できないことも出てまいりました。

そこで、佐賀県内を拠点に復旧・復興活動を行うNPO法人「佐賀災害支援プラットフォーム」を通じて、全国各地の被災地で活動する団体や、嬉野市商工会青年部、JAさがをはじめとする地元有志など、市と連携協定を結んでいる企業・団体とともに、ボランティアチームを立ち上げて復旧作業を行ってまいりました。私も作業に加わり、共に汗をかく中で、新たな災害支援の形も見えてまいりました。災害後にボランティアを組織化して円滑な活動を支援する計画策定を急ぎ、今後に備えてまいる必要があると痛感をいたしております。なお、10月の共同作業の後も当地を訪れ、連日作業に当たっていただいている県内外ボランティアの皆様はこの場を借りて心からの感謝を申し上げる次第です。日本全国どこでも災害はあるけれど、何かあればみんなで助け合って何とかする。そんな嬉野市でありたいと強く願っております。「誰一人取り残さない」。今、まさに全世界が掲げる理想を嬉野の地から実践をしてみたい、そのように考えております。

また、来年秋の西九州新幹線開業まで1年を切り、駅周辺整備のまちづくりの形も示され、期待と関心が高まっていることを実感いたします。11月14日に開かれた駅舎見学会などの記念イベントには5,000人が訪れ、嬉野市の新たな玄関口となる嬉野温泉駅周辺のイメージ動画も公開いたしました。

旅館をイメージさせる和の趣と緑豊かな空間演出に加え、国の直轄事業による整備エリアには、国重要伝統的建造物群保存地区の塩田津をモチーフとした情報発信施設を配置して、これから始まる旅への期待感を高める仕掛けを盛り込んでおります。

また、新幹線開業を契機としてJR九州ホテルズ株式会社が手掛ける最高級宿泊施設の開発や世界的なホテルチェーンの進出をはじめとする今後の積極的な民間投資の動きを追い風に、嬉野市は、佐世保や佐賀県内の唐津までを射程に捉えた西九州地域の観光拠点としての存在感を高めていくことを確信しております。嬉野市はこれからは面白い。そのように断言ができると思っております。

それでは、これより今定例会に提出いたしました議案につきまして、その概要を御説明申し上げます。

提出案件は、議決事件に該当しない契約の報告1件、条例の新規制定が2件、条例の一部改正5件、指定管理者の指定1件、一部事務組合理約の改正1件、令和3年度補正予算9件の、全部で19件について御報告し、また、御審議をお願いするものでございます。

まず、議案第85号 嬉野市下水道事業の設置等に関する条例については、来年度から、農業集落排水、公共下水道、市営浄化槽の下水道3事業が公営企業会計に移行することから、必要な条例の制定及び関係条例の改正を行うものです。

次に、議案第86号 嬉野市下水道事業職員の給与の種類及び基準に関する条例については、地方公営企業法の規定に基づき、下水道事業に従事する職員の給与等の基準を定めるものです。

これより、条例の改正について御説明をいたします。

まず、議案第87号 嬉野市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について御説明いたします。国家公務員に係る規定の改正に準じ、本市においても不妊治療、または不育症に対する治療に係る通院等の休暇を追加するものでございます。

議案第88号 嬉野市特別会計条例の一部を改正する条例については、嬉野第七及び第八区画整理事業の保留地処分事業に係る起債の償還が終了し、特別会計を廃止するものでございます。

議案第89号 嬉野市国民健康保険条例の一部を改正する条例については、来年度においても現行の出産一時金の支給額を維持するため、所要の改正を行うものです。

議案第90号 嬉野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例については、デジタル化の推進に伴い、子ども・子育て支援新制度において、保育所等の事業者、保護者等が関係書類について、電磁的方法による対応も可能である旨の包括的な規定を追加するものでございます。

議案第91号 嬉野市分担金徴収条例の一部を改正する条例については、災害関連地域防炎がけ崩れ対策事業を実施するに当たり、分担金の賦課基準を定めるものでございます。

次に、議案第92号 指定管理者の指定については、令和4年度から3年間、嬉野市コミュニティセンター楠風館の指定管理者を指定したいので、議会の議決を求めるものです。

次に、議案第93号 佐賀県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合理約の変更については、佐賀県総合事務組合の共同処理に新たな団体を参加させるため、議会の議決を求めるものです。

次に、補正予算関係でありますが、一般会計、特別会計の9件を提案いたしております。

まず、議案第94号 令和3年度嬉野市一般会計補正予算（第10号）について御説明を申し上げます。

歳入歳出それぞれ6億3,174万7,000円を追加し、補正後の予算総額を214億4,895万4,000円とするものでございます。

今回の補正は、新型コロナウイルスワクチン接種事業、8月豪雨災害関連事業のほかに、前年度からの繰越金が確定をいたしましたので、それに関連する歳入歳出の予算措置が主なものとなっております。

また、地方財政法により、決算剰余金のうち2分の1を下回らない額として財政調整基金に3億2,999万9,000円、ふるさと応援寄附金基金の繰越分を今後の公共施設の建て替え費用として公共施設建設基金へ7,164万2,000円を、それぞれ積立てを行うものでございます。

主要な事業といたしましては、新型コロナウイルスワクチン接種事業の3回目の接種に係る費用等に1,211万1,000円、令和3年8月豪雨により被災した農作物の種子種苗または生産資材の購入費に対する補助を行う「営農再開・草勢樹勢回復等被害対策事業」に86万4,000円、がけ地の崩落等が発生している箇所防止工事を行う「災害関連地域防災がけ崩れ対策事業」に1,300万円、公共土木施設災害の地すべりに係る調査観測等について2年間の継続費を設定して行う「地すべり調査観測測量設計業務(木場地区)」に2,860万円を計上いたしております。

また、令和4年秋に開業が予定されている「新幹線西九州ルート建設事業」の負担金として4,563万3,000円、吉田小学校と塩田中学校に特別支援教室を整備する事業として合計1,394万円を計上するとともに、伝統的建造物群基盤強化事業の公開活用施設を次年度にかけて実施する費用として1,049万4,000円を計上しています。

そのほか、各事業の前年度の国県事業等の精算にかかる償還金、人事異動に伴う人件費補正の計上も行っております。また、楠風館の指定管理に係る委託や、市史編さん業務の委託期間延長に伴い、債務負担行為の補正をさせていただいております。

次に、議案第95号 令和3年度嬉野市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について御説明を申し上げます。

歳入歳出にそれぞれ9,553万5,000円を追加し、補正後の総額を36億3,736万9,000円とするものです。

歳入予算に前年度繰越金を計上するとともに、歳出予算に決算剰余金の2分の1を下回らない額を国民健康保険基金に積み立てるとともに、前年度の国県支出金の償還金、一般会計繰出金の精算金を計上するものでございます。

次に、議案第96号 令和3年度嬉野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について御説明申し上げます。

歳入歳出それぞれに291万4,000円を追加し、補正後の総額を3億8,497万6,000円とするものです。出納整理期間中に収納した保険料負担金や、過年度分の保険料還付金を計上するものでございます。

次に、議案第97号 令和3年度嬉野市農業集落排水特別会計補正予算（第2号）について御説明を申し上げます。

歳入歳出それぞれに63万3,000円を追加し、補正後の総額を4億257万4,000円とするものです。歳入予算に前年度繰越金を計上するとともに、歳出予算に消費税及び地方消費税の予算を計上するものでございます。

次に、議案第98号 令和3年度嬉野都市計画下水道事業嬉野市公共下水道事業費特別会計補正予算（第1号）について御説明をいたします。

歳入歳出それぞれ313万9,000円を減額し、補正後の総額を5億2,407万2,000円とするものです。歳入予算に前年度繰越金及び消費税還付金を計上するとともに、歳出予算で消費税及び地方消費税を減じるものでございます。

次に、議案第99号 令和3年度嬉野市浄化槽特別会計補正予算（第1号）について御説明を申し上げます。

歳入予算において、前年度繰越金と消費税還付金の増額により、一般会計繰入金を減額するものでございます。

次に、議案第100号 令和3年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野第七土地区画整理事業費特別会計補正予算（第1号）について御説明を申し上げます。

歳入歳出それぞれに1,040万1,000円を追加し、補正後の総額を1,530万8,000円とするものです。歳入予算に前年度繰越金を計上し、保留地処分金相当額を歳出予算から一般会計へ繰り出し、残額を一般会計繰入金から減じるものでございます。

次に、議案第101号 令和3年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野第八土地区画整理事業費特別会計補正予算（第1号）について御説明を申し上げます。

歳入歳出それぞれに2,693万6,000円を追加し、補正後の総額を3,517万2,000円とするものです。歳入予算に前年度繰越金を計上し、保留地処分金相当額を歳出予算から一般会計へ繰り出し、残額を一般会計繰入金から減じるものでございます。

最後に、議案第102号 令和3年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業費特別会計補正予算（第2号）について御説明を申し上げます。

歳入予算に前年度繰越金を計上し、一般会計繰入金を減じるものでございます。

以上で、本議会に提案いたしました議案についての概要説明を終わりますが、各議案の詳細な内容については担当部課長から説明をさせますので、何とぞ慎重な御審議をお願い申し上げます。

なお、補正予算につきまして、今会期中に追加提案をいたしたいと考えておりますので、あらかじめ御了承いただきますようお願い申し上げます。

最後になりますが、議案質疑及び一般質問につきましても真摯にお答えをさせていただきたいと存じますので、よろしくようお願い申し上げます。提案理由の御説明とさせていただきます。

○議長（田中政司君）

これで提案理由の説明を終わります。

お諮りします。議案第85号から102号までの18件につきましては、委員会付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。よって、議案第85号から102号までの18件につきましては、委員会付託を省略することに決定をいたしました。

日程第22. 委員長報告を議題といたします。

閉会中、文教福祉常任委員会に付託しておりました調査事件について、委員長に報告を求めます。

文教福祉常任委員会の付託事件、児童福祉について報告を求めます。森田明彦文教福祉常任委員長。

#### ○文教福祉常任委員長（森田明彦君）

文教福祉常任委員会報告書。

文教福祉常任委員会委員長、森田明彦。

令和3年9月定例会において付託された下記事件の調査結果を、嬉野市議会会議規則第107条の規定により報告いたします。

付託事件名、児童福祉について。

調査理由といたしまして、子育て支援については、重要な施策の一つとして全国的に取り組まれており、嬉野市でもいろいろな方々の声を基に「こどもセンターリュッケ」が2019年9月にオープンしました。開設から約2年が経過したところではありますが、この事業のさらなる充実を図るため、白石町の子育て支援の取組について調査を行いました。

調査の概要。

白石町地域子育て支援センター「ゆめてらす」において、白石町が実施している地域子育て支援拠点事業やその他子育て支援に関する取組と、また、効果についての調査研究を行いました。

調査日時、令和3年10月18日月曜日、10時から12時。

調査場所、白石町地域子育て支援センター「ゆめてらす」であります。

対応者といたしまして、白石町の保健福祉課こども未来係係長山口裕之氏、同係の森ゆかり氏、同じく健康づくり係係長川崎真由美氏、そして、白石町社会福祉協議会の事務局長門田和昭氏、同じく白石町地域子育て支援センターのセンター長淵上千佳子氏の5名の方でございました。

2ページ目ですけれども、調査内容といたしましては、以下のⅠ、Ⅱ、Ⅲ項目につきまして、いろいろ質疑応答をさせていただきました。これは後で御一読ください。

委員会の意見といたしまして、白石町では子育て支援に関して、旧庁舎を活用した地域子

育て支援センター「ゆめてらす」の1か所を拠点として事業を行っておられる。このセンターは、白石町役場の新庁舎建設により使用されなくなった旧有明町役場の庁舎の有効活用として、平成22年10月に開設されたとのことでもあります。まず一番に感じたのは、旧庁舎活用のセンターは建物自体が当然広く、親子で利用されている方々が伸び伸びと過ごしておられたことでもあります。また、社会福祉協議会をはじめ、関係機関も同じ建物に入っているために連携が大変スムーズにできているように感じました。さらに、子どもたちが利用している部屋の隣室で「デイサービス」も行われており、子どもたちとおじいちゃん、おばあちゃんとの触れ合いも双方にとってとてもよい環境であると思いました。

嬉野市も子育て支援の充実には、ゆとりのある施設スペースを確保することが非常に重要であり、確保に向け努力いただきたいと思います。

「ゆめひろば」の利用状況といたしましては、旧3町のそれぞれの地区から大きな偏りはなく利用されており、また、町外からの利用も多くあっています。地理的に立ち寄りやすい場所であることと、利用したいと思わせる環境が整っているということが要因と思われる。町外の方も多く利用されることにより交流が増えることは、大きなメリットであるという考え方も示されたことは参考とされたい。

当市でも「うれしの子育て応援リーフレット」といった内容も、楽しく分かりやすい資料の作成など、創意工夫をもって子育て支援に取り組んでおられます。他市町のよい点を参考として、取り入れるべきを取り入れて、さらに満足度の上がるような事業展開につなげていただきたい。

以上、報告と委員会の意見といたします。

**○議長（田中政司君）**

ただいまの報告に対して質疑はありませんか。増田朝子議員。

**○8番（増田朝子君）**

白石町の「ゆめてらす」ですね、私も以前に見学させていただいたことがありますし、また、市長の議会での御答弁でもこどもセンターのイメージは「ゆめてらす」ということを以前に申されていました。本当に私も充実している事業がたくさん盛り込まれているなどの感想を持っています。

ここの中で、調査内容の一時預かり事業がございます。嬉野市では現在、一時預かり事業は各保育所でされていると思うんですけども、私もここを訪れたときは各保育所の事業に関係なく、特定の保育士さんとの関係で子どもさんたちも安心して保育していただいているなどというのを感じておりました。その中で、一時預かり事業に行かれたときの御感想と、あと3番のファミリー・サポート・センター事業のここに「利用料に多少の違いはあるが、事業内容等は嬉野市とほぼ同じである。」とありますけれども、そのことをもう少し詳しくお願いいたします。

**○議長（田中政司君）**

森田明彦文教福祉常任委員長。

**○文教福祉常任委員長（森田明彦君）**

最初に、白石町の一時預かり事業についてでございますけれども、基本的には白石町におかれましても、やはり保育所が今、認定こども園も含めまして、そのこの活用がまず基本的に第一でございましたね。そして、あくまでも一時的に、いわゆる家庭での保育が難しい場合という限定的な場合に限っての対応でございます。ここは多分うちのほうも一緒だと思っております。今の一時預かりということの捉え方はそういうことでよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）

それと、ファミリー・サポート・センター事業、嬉野ではまかせて会員さん、それから、お願い会員さんですかね、そういう名称になっていますけど、現在、白石町のほうでは利用される会員さんが四十数名、そして、協力会員さん、いわゆる嬉野でいうところのまかせて会員さんが白石町の場合は20名ということで、現在嬉野市のほうはまかせて会員さんも約70名ほどいらっしゃいますので、事業内容としては書いてあるようにほぼ同じなんですけど、規模的には嬉野が相当充実しているんじゃないかなというような印象を持っております。

また、あとプラスすれば、その中にお譲りをしていただいたベビーカーとか、特に車に着用するベビーシートですね、そういったものの貸出し等も行っております。もちろん、現在嬉野もやっていますが、種類に関しましては、そういった御不要になられた方のお譲り会もあっておりますけど、そういうものの活用については今後嬉野のほうも進めていくというようなお話を聞いておりますので、この辺の内容は基本的には同じというふうに捉えています。

以上です。（「結構です」と呼ぶ者あり）

**○議長（田中政司君）**

ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑なしと認めます。これで委員長報告の質疑を終わります。

お諮りいたします。本件については、ただいまの報告のとおり了承したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。よって、児童福祉については、報告のとおり了承することに決定をいたしました。

次に、議会ICT化に関する特別委員会の付託事件、議会ICT化に関する調査研究について報告を求めます。芦塚典子議会ICT化に関する特別委員長。

**○議会ICT化に関する特別委員長（芦塚典子君）**

議会 I C T 化に関する特別委員会の報告をいたします。

議会 I C T 化に関する特別委員会委員長、芦塚典子。

令和 3 年 9 月議会において付託されました下記事件について、嬉野市議会会議規則第 107 条の規定により報告をいたします。

付託事件名として、議会 I C T 化に関する調査研究。

本特別委員会は、平成 30 年 3 月議会より I C T ツールの利活用をはじめ、本議会の I C T 化に関わる研修並びに検討を進めてきたところでありましたが、このたび、今年度までの本特別委員会の検討結果を取りまとめましたので、次のとおり報告いたします。

経過報告（会議の概要）としては、第 1 回を平成 30 年 4 月 27 日に開催し、令和 3 年 11 月 4 日、第 33 回会議まで検討並びに研修いたしました。

先進地視察については、平成 30 年 7 月 18 日に武雄市議会並びに大村市市議会、令和元年 7 月 4 日、5 日に総務省情報流通行政局並びに横須賀市議会を視察、研修させていただきました。

経過報告並びに先進地視察については、御一読いただければと思います。

委員会の意見として報告をいたします。

本特別委員会では、平成 30 年 4 月の第 1 回会議より令和 3 年 11 月の第 33 回会議まで検討会や研修を重ね、まず第 1 項目として、当市議会の議会 I C T 化の現状と課題を検討事項として取り組みました。第 2 回会議から議会 I C T 化推進基本計画について協議を重ね、第 16 回会議において当市としての議会 I C T 化推進基本計画を策定いたしました。第 6 回会議においては、I C T 化の具体的取組としてタブレット研修案を提示し、第 7 回会議において東京インタープレイ（株）「sideBOOK」のデモと体験研修を行いました。システムソフト採用においては、メンテナンスコストの点と会議機能が充実している点で富士ソフト（株）のクラウドサービス「moreNOTE」を採用する結果となりました。

「moreNOTE」導入の効果としては、議会に関する行事等のスケジュール管理が的確に行えるようになったことと、議員への資料の急な配付を要する際にクラウド内の情報共有機能で速やかにデータ配信できるようになったこととあります。しかし、データ配信された資料をプリントアウトする際に手間がかかるために、これが簡単にできるよう改善が必要となります。

また会議では、端末機器導入及び議場プレゼンテーションと一般質問のツールとして大型スクリーン整備など議場内の I C T 環境整備、また、I C T を活用したペーパーレス化や情報共有化など議会改革等についても協議を行ったところです。

特に端末機器導入については、議員で共通の端末を用いないと会議で円滑な利用が難しい点が上げられることから、端末の使用基準の制定や貸与に関する例規の整備などを行う必要があることを明確にしながら、端末の導入を試みました。しかし、現在の世界的な半導体不

足でパソコン機器の納入が困難ということで、端末の導入に関しては来期に持ち越すという結果になりました。

これまで本特別委員会において、合計33回の会議を通して、今後の嬉野市議会の情報化に対応するため、「嬉野市議会ICT化推進基本計画」を策定し、議員活動と議会活動の活性化、円滑な議事運営、事務の効率化に資するとともに、より市民に開かれた議会を実現するために、議会のICT化を具体的・積極的に検討し、研修と協議を重ねて調査研究を行ったことをここに報告いたします。

以上です。

**○議長（田中政司君）**

ただいまの報告に対して質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

お諮りいたします。本件については、ただいまの報告のとおり了承したいと思えます。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。よって、議会ICT化に関する調査研究については、報告のとおり了承することに決定をいたしました。

次に、嬉野市庁舎検討特別委員会の付託事件、嬉野市庁舎のあり方に関する調査研究について報告を求めます。辻浩一嬉野市庁舎検討特別委員会委員長。

**○嬉野市庁舎検討特別委員長（辻 浩一君）**

嬉野市庁舎検討特別委員会報告書。

令和3年9月議会において付託された下記事件の調査結果を、嬉野市議会会議規則第107条の規定により報告いたします。

付託事件名「嬉野市庁舎のあり方に関する調査研究」。

調査理由。

嬉野市は平成18年1月に旧塩田町と旧嬉野町が合併し、嬉野市となった。合併後、塩田庁舎・嬉野庁舎の2庁舎体制で自治体業務を行ってきたが、嬉野庁舎が築50年を超えて老朽化が進んできた。

そういう状況の中、阪神淡路大震災や東日本大震災の発生等により国の耐震強度の見直しが行われた。それに伴い新基準前に建設された、市内各公共施設含め嬉野庁舎の耐震調査が行われ、嬉野庁舎は耐震要件を満たしていないとなった。そこで、市民や職員に対して早期の安全確保が重要なことから耐震補強についての検討もなされたが、補強を行った場合、事務所としての機能が大きく損なわれることが指摘された。また、老朽化による雨漏りやユニバーサルデザインの観点からの課題もあり、建て替えの方針が示された。

令和元年に有識者・市民公募者等による嬉野市庁舎のあり方検討委員会が設置されたことを受けて、議会でも市庁舎の在り方について検討が必要であることから、嬉野市庁舎検討特別委員会を令和元年6月24日に設置した。委員会の構成は議員全員でとの意見もあったが、調査の日程調整や委員会での円滑な意見集約ができるように、議員間代表での構成といたしました。

調査概要については、お目通しをよろしくお願い申し上げます。

委員会の意見。

本委員会は市庁舎建設に関して、執行部から庁舎整備方針の説明を受け、委員会として視察も含めて議論を行ってきた。市内説明会やパブリックコメントもなされているが、市としての基本構想が提案されていない状況下で、本委員会として基本的な意見にとどめることとなる。建設費については将来の人口減少等を鑑み、嬉野市の財政規模に則した予算執行を求め、市民の利便性を考慮し、公共機関の集約も視野に入れた検討を求める。市庁舎建設に関しては様々な意見がある中で、嬉野庁舎の安全性の早期解消や建設予算措置のスケジュール等について丁寧な説明を行い、市民融和を図りながら歓声が響き合う嬉野市を目指し、なお一層の努力を求める。

以上です。

#### ○議長（田中政司君）

ただいまの報告に対して質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

お諮りいたします。本件については、ただいまの報告のとおり了承したいと思えます。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。よって、嬉野市庁舎のあり方に関する調査研究については、報告のとおり了承することに決定をいたしました。

以上で本日の日程は全部終了いたしました。

本日はこれで散会いたします。

午前10時43分 散会